保健センター年報

平成 28 年度

九州工業大学保健センター

目次

1. 平成 28 年度　保健センター事業報告 3

平成 28 年度　事業計画の重点項目の計画・評価

・生活習慣病予防プログラム 5

・心理教育グループ活動　～WAKUWAKUグループ～ 7

2. 平成 28 年度　保健センター事業報告〈細目〉

2-1. 学生定期健康診断

(1)年度・学年別　受診者数及び受診率 11

(2)胸部レントゲン検査 12

(3)血圧測定 13

(4)尿検査 15

2-2. 通年健康診断

(1)受診者数及び受診率 17

(2)通年健診各項目 18

2-3. 駅伝大会出場者 心電図検査 19

3. 保健センター利用状況(総括) 20

保健センター利用状況(詳細) 22

4. 平成 28 年度心理相談利用状況 25

5. 平成 28 年度学生健康調査と健康支援に関する報告

(1)　喫煙状況について 28

(2)　飲酒習慣について 30

(3)　運動習慣について 31

(4)　睡眠状況について 32

(5)　朝食摂取状況について 33

6. 平成 28 年度ストレスチェックフォローアップについて 34

7. 保健センター広報関係 35

1. 平成 28 年度　保健センター事業報告

【健康診断･健康管理（※安全衛生推進室活動含む）】

･入学前学生支援のための健康調査･フォローアップ

･学生定期健康診断（事後措置･データの電算処理含む）

･学生通年健康診断（事後措置含む）

･学内駅伝参加者･スポーツ大会参加者健康診断（事後措置含む）

･海外渡航前の健康状態チェック

･雇入時の健康診断･職員定期健康診断（事後措置含む）※

･特定化学物質･有機溶剤健康診断（事後措置含む）※

･電離放射線健康診断（事後措置含む）※

･過重労働対策※

･職場復帰支援※

･海外派遣労働者の健康診断※

【健康支援】

･卒煙プログラム（学生･職員対象）

･生活習慣病予防プログラム（学生･職員対象）　★重点項目･別紙報告書あり

【メンタルヘルス対策（※安全衛生推進室活動含む）】

･GHQ 検査（学生定期健康診断と同時に実施）･フォローアップ

･心理グループ教育活動（戸畑･飯塚）　★重点項目･別紙報告書あり

･復学者支援･フォローアップ

･自殺予防対策

･職業性簡易ストレス調査･事後措置※

【救護】

･入学式

･編入学試験

･大学院入学試験

･教員免許状更新講習

･高大連携課題研究発表会

･オープンキャンパス（戸畑･飯塚）

･推薦･帰国子女特別入学試験

･学内駅伝大会

･大学入試センター試験

･私費外国人留学生入学試験

･一般入学試験（前期･後期日程）

･卒業式

･ISGフェスタ（飯塚）

･防災訓練

【調査】

・休・退学、留年学生に対する調査

・障害のある学生の就学支援に関する実態調査

【研究会等参加】

・九州地区大学保健管理研究協議会

（一般演題「留学生の健康診断事後措置における課題の考察」永芳保健師発表）

・全国大学保健管理研究集会

（一般演題「休学および学校不適応となった学生への復学支援プロジェクト」福盛保健師発表）

・心の問題と成長支援ワークショップ

・全国学生相談研修会

・自殺対策支援者研修（MHFA―J）

・フィジカルヘルスフォーラム

【講習会等】

・新入生オリエンテーション

・新入生研修会講演

・ゲートキーパー講習会

・救命処置講習会

・リーダーシップセミナー

【会議（※安全衛生推進室関係の会議含む）】

・保健センター運営委員会

・保健センター全体ミーティング

・保健センター保健師ミーティング

・学生総合支援室連絡会

・学生相談員会

・安全衛生推進室保健管理部会※

・各地区安全衛生委員会※

・保健管理部門連絡会※

平成 28 年度　事業計画の重点項目の計画・評価

事業項目	生活習慣病予防プログラム
期　間	随時受付
目　標	・BMI30 以上かつ血圧 2 次検査対象者の学生全数に 保健指導を実施し、プログラムを案内する。 ・プログラム参加者の BMI が３か月で 2 ポイント減少する。
実施計画	・学生健康診断にて BMI３０以上の学生に対して プログラム案内チラシを配布。 ・血圧検査２次検査対象かつ BMI３０以上の学生に対して ２次検査の際に保健指導を実施、プログラムを案内。 ・学生とともに３か月後の目標を設定。 初回面接用紙を用いて、運動・食事の計画をたてる。 随時、保健指導。 ・学生のモチベーションに応じて 定期測定のみでも可能。
実施内容	１回目：　計測 「肥満はなぜ怖い？」 行動目標を考えてみましょう！！ 歩数計の貸出　歩数記録をつけましょう！！ ２回目：計測 メタボリックシンドローム危険度チェック 運動について　家でできる筋トレとストレッチ ３回目：　計測 摂取カロリーを減らすための食事の工夫 （希望で）食事調査・カロリー計算について 4 回目：　計測（以降継続） 運動と食事のまとめ　体重や生活の変化について
評価方法	・対象者数、案内数、参加数を集計する。 ・参加学生の体重の変化を記録し、３か月後評価する。

最終評価

生活習慣病予防プログラム評価シート

	定期健康診断受診者数	BMI30以上の学生数	プログラム参加学生数	3か月後の体重増減kg（平均）
戸畑	2500	43	8	-2.8
飯塚	2038	58	4	0
若松	337	23	3	-5.3

プログラム評価

戸畑	戸畑では、BMI30以上であり、血圧140/90mmHgの学生21名中、10名プログラム面談し、参加勧奨を行った。 うち、1名がプログラムに参加する。その他7名は、保健センターのホームページをみたり、新入生オリエンテーションの時に、プログラム参加者の結果を紹介などの広報活動でプログラムを知り参加するに至った。 M1が参加者の半数を占めた。昨年参加した学生1名あり。
飯塚	飯塚ではBMI30以上かつ血圧140/90mmHg以上の学生22名に対し、血圧再検査時に保健指導及びプログラムの参加勧奨を行った。そのうち1名がプログラムに参加し、その他3名は健康診断時に配布したチラシをみて自主的に参加されたが、継続に至らなかった。
若松	若松では、BMI30以上かつ血圧140/90mmHgの学生8名に対し、保健指導を実施し、プログラム参加勧奨を行った。そのうち、3名がプログラムに参加した。糖尿病疑いの学生には、受診を勧奨し、治療状況を確認しながらプログラムを実施した。-20kgの減量に成功した学生は減量とともに血圧の値が下がる傾向もみられ、今後の経過も引き続き確認したい。

事業項目	心理教育グループ活動　～ＷＡＫＵＷＡＫＵグループ～
期　間	平成28年4月～平成29年3月
目　標	保健センターカウンセリングの来談者など、対人面での自己表現、コミュニケーションに苦手意識のある学生を対象に、グループでのさまざまな活動を通して、対人スキルの習得や対人交流の促進、孤立化の防止、苦手意識の克服を目標としている。
実施計画	平成28年5月より、戸畑・飯塚・若松の保健センターにて月1回程度、実施。名称を「WAKUWAKU グループ」とし、カウンセラーをはじめとする保健センターのスタッフが、グループのファシリテーターを担っている。 ・戸畑キャンパス：第2金曜日 ・飯塚キャンパス：第4金曜日 ・若松キャンパス：第3木曜日
実施内容	グループ活動は、2 部構成としている。これは、授業の関係などで、お昼休みにしか参加できない学生がいるための配慮である。 時間：第1部 12:00～12:50（昼休み）　　第2部 13:00～13:50 内容： 第1部　お弁当を食べながらフリートーク（最近あったことなど） 第2部　ワーク・課題・ゲーム等交流を目的とした活動 なお、グループ活動においては、自発的な発言や話題提供に困難をしめす学生も多いため、「お話カード」などの用具を準備して、そのような学生が自己表現しやすい方法や雰囲気を提供できるよう工夫している。
評価方法	グループ活動を担当したファシリテーターは、参加学生のカルテにグループ活動での様子を記録し、担当カウンセラーと情報共有を図る。また、毎回、グループの体験内容に関する評定や自由記述などの感想を得ている。
最終評価	戸畑、飯塚、若松の各キャンパスにおいて、予定通り実施した。毎回、複数名の参加があり、ワーク、課題、ゲーム等を通した交流、コミュニケーションの機会となった。参加学生とスタッフ間のみならず、学生同士の交流の深化、発展も見られた。これらの様子からカウンセリング場面とはまた違った学生の一面を捉えることができ、グループ活動と個別カウンセリングを並行して行う相乗効果も得られた。またカウンセリングへ以前来談していたものの関与が途切れていた学生や相談するほどではないがスタッフとの“つながり”を求める学生にとっては、保健センターに来所する良い機会にもなった。このような成果が得られたことから、次年度以降も同様のグループ活動を行っていく予定である。

平成28年度WAKUWAKUグループ実施報告

戸畑キャンパス

1. 目的:①安心できる居場所の提供、②コミュニケーションスキルの向上。

2. 対象:コミュニケーション面で苦手意識が強かったり困難さを有している学生に参加を呼びかけた。継続的に参加していたのは3名で、1名は本人の都合がつくときに参加していた。

3. 構造:原則第2金曜日の昼休み(12:00-12:50)、保健センター内ひまわりルームにおいて実施した。なお、今年度は3限に授業がある学生の参加が主だったため、基本的には第一部(昼休み)のみの開催だった。ただし長期休みの際には、第二部として3限にもプログラムを実施した。

4. スタッフ:臨床心理士2名、保健師1名、事務スタッフ1名だった。

5. 活動内容:第一部では、学生が各自弁当を持参し、昼食を食べながらともに過ごすことを中心とした。第二部では、書道やボードゲームなどのアクティビティを行った。

回	実施日	参加学生数	第1部	第2部
1	5月13日	1名	フリートーク	
2	6月10日	2名	フリートーク	
3	7月8日	2名	フリートーク	
4	9月9日	2名	ちょこっとチャット	書道
5	10月14日	3名	ちょこっとチャット	
6	11月11日	2名	サイコロジーゲーム	サイコロジーゲーム
7	12月9日	3名	サイコロジーゲーム	
8	1月13日	3名	サイコロジーゲーム	書初め
9	2月10日	4名	サイコロジーゲーム	

6. 経過:

第一部に関して、計9回実施した。第1回から第3回まではフリートークを中心とした。昨年度から参加している学生が主だったが、スタッフが適宜話題を振りながら会話を展開していた。自発的にほどよいコミュニケーションを取ることが苦手な学生も多かったため、第4回からは「ちょこっとチャット」や「サイコロジーゲーム」などを用いて、テーマに沿って話をする形式へと変更した。

第二部に関して、計3回実施した。内容は、書道などのアクティビティ中心のプログラムで構成された。会話が苦手な学生も比較的楽しそうに参加しており、参加後のアンケートの評定からも概ね満足している様子が窺われた。

7. まとめと今後の課題:

目的①に関して、ほぼ毎回同じメンバーで実施されることで、ある程度安心して参加することができるようになっていったと考えられる。目的②については、サイコロジーゲームなどの活用や、皆でじっくりと話を聴く場を設けたことで、メンバーの自発的な会話も増えつつあるように思われる。

今後の課題として、まずメンバーを増やすことが挙げられるだろう。コミュニケーションの苦手な学生へのサポートは喫緊の課題であり、より多くの学生に参加してもらうことが重要であると考えられる。特に第二部の参加者が少なかったため、枠組みを工夫したり、第一部でもアクティビティを実施するなどの対応が求められるだろう。また、今年度は心理テストやロールプレイなどの心理教育的活動は導入しなかったが、学生のニーズを踏まえつつ適宜取り入れていってもよいだろう。

飯塚キャンパス

1．目的：①安心できる居場所の提供、②コミュニケーションスキルの向上。

2．対象：学生相談を利用している学生を中心に保健センターを居場所の一つとして利用している学生にも参加を呼び掛けた。

3．構造：金曜日の 12：00～13：00 に第 1 部として昼食を食べながらの歓談。13：00～14：00 までを第 2 部としてコミュニケーションを目的とした企画を行った。原則として月に 1 回の実施。

4．スタッフ：臨床心理士 1 名。回によって、保健師や医師、臨床心理士が追加で加わった。

5．活動内容：第 1 部では、学生が各自弁当を持参し、昼食を食べながら共に過ごすことを中心とした活動を行った。第 2 部では臨床心理士が企画した活動や学生が企画した活動を行った。各回の実施内容は以下の表に示す。

回	実施日	参加学生数	第 1 部	第 2 部
1	5 月 27 日	5 名	自己紹介・フリートーク	UNO
2	6 月 4 日	4 名	自己紹介・フリートーク	トランプ
3	7 月 22 日	6 名	自己紹介・フリートーク	アナログゲーム(学生企画)
4	9 月 30 日	5 名	自己紹介・フリートーク	大富豪
5	11 月 4 日	6 名	自己紹介・フリートーク	お絵かきの森(学生企画)
6	12 月 9 日	7 名	自己紹介・フリートーク	人狼ゲーム(学生企画)
7	1 月 27 日	2 名	自己紹介・フリートーク	フリートーク

6．経過：

第 1 部、第 2 部共に、計 7 回実施した。第 1 部では自己紹介とフリートークの中で、学生同士の話題をつなぎ学生間の関係づくりを行った。また、全体で共通のテーマがある場合には取り上げた。昨年から引き続き参加している学生も多いため、他の学生が疲れた様子であったり悩んでいる場合には学生同士で話を聞いている場面も見られた。

第 2 部では、皆が慣れ親しんだゲームを入れることで緊張感をあまり持たずに参加できるようにし、その中で起こっていることや間の交流を大切にした。

後半は、学生に企画を相談し、グループリーダーを任せ臨床心理士は補助として参加する回を幾度か設定した。

自分の関心がある企画を他の学生が楽しんでいる様子を見て、肯定されている感じをもったり、役割を持つことで参加しやすくなる様子が見られた。

全般的に、感想シートでの評価はよく、授業の関係で参加できない回では名残惜しそうにしている学生が多かった。

7．まとめと今後の課題

保健センターが居場所となっている学生が多く参加していることや、新しく参加した学生にも学生同士で配慮する様子が見られている。緊張感を持ちすぎない導入と入りやすい課題の中で起こる交流を円滑に進める役割を臨床心理士がとり続ける必要があると考える。

今後は学生の卒業などで、メンバーが変わっていく中で居心地の良い雰囲気と新規の学生が入りやすい雰囲気を残すことが必要と考えられる。

若松キャンパス

１．目的：①安心できる居場所の提供、②コミュニケーションスキルの向上。

２．対象：カウンセリングへ来談している学生や、あるいは来談したことがある学生など。

３．構造：月一回、火曜日の 12：00～13：00 に、昼食を食べながらの活動。

４．スタッフ：カウンセラー（臨床心理士）１名、保健師１名

５．活動内容

実施月	参加学生人数	内容
6月	2名	自己紹介
7月	2名	アンゲーム
9月	0名	
10月	1名	人生ゲーム
11月	2名	人生ゲーム
12月	0名	
1月	4名	書き初め
2月	0名	

６．経過

参加者の感想

・ リラックスして話すことができ、気分転換となった。
・ 普段聞けないようなことが聞けて楽しかった。
・ アンゲームで会話が弾んでよかった。
・ 普段考えないような課題について話したので楽しめた。

７．まとめ

２８年度より若松キャンパスでもグループ活動を開始した。対象者が大学院生で多忙ということもあり、スケジュールが合わずに継続して参加するのが難しかったり、予定していたものの当日来られなくなったりする者もいて、全体的な参加人数は少なかった。しかしながら、以前カウンセリングに来談していた学生が、久しぶりにグループ活動ならとやって来たり、活動の中で普段と違ったスタッフやメンバーの一面を知る機会になったり、と個別のカウンセリングでは得られない展開があった。より多くの学生がカウンセリング、保健センターを利用するきっかけとなるものと考えられるので、今後も、若松キャンパスにおいてもグループ活動を継続していく。

2. 平成 28 年度　保健センター事業報告　＜細目＞

2-1. 学生定期健康診断

(1)年度・学年別　受診者数及び受診率

対象者数: 5,724 名　　受診者数: 4,875 名　受診率: 85.2%

			平成28年度			平成27年度		
			対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
戸畑キャンパス	学部生	１年	544	536	98.5%	534	526	98.5%
		２年	579	399	68.9%	603	442	73.3%
		３年	661	529	80.0%	651	480	73.7%
		４年	558	503	90.1%	545	502	92.1%
	院生	Ｍ１	279	242	86.7%	303	285	94.1%
		Ｍ２	310	275	88.7%	306	273	89.2%
		Ｄ１	27	8	29.6%	21	4	19.0%
		Ｄ２	21	3	14.3%	21	3	14.3%
		Ｄ３	39	4	10.3%	49	12	24.5%
	研究生		1	1	100.0%	1	1	100.0%
戸畑キャンパス計			3,019	2,500	82.8%	3,034	2,528	83.3%
飯塚キャンパス	学部生	１年	420	419	99.8%	420	420	100.0%
		２年	479	414	86.4%	486	367	75.5%
		３年	488	400	82.0%	482	396	82.2%
		４年	441	410	93.0%	460	419	91.1%
	院生	Ｍ１	193	185	95.9%	195	191	97.9%
		Ｍ２	205	182	88.8%	222	199	89.6%
		Ｄ１	16	13	81.3%	6	2	33.3%
		Ｄ２	6	2	33.3%	17	11	64.7%
		Ｄ３	29	12	41.4%	25	14	56.0%
	研究生		1	1	100.0%	1	1	100.0%
飯塚キャンパス計			2,278	2,038	89.5%	2,314	2,020	87.3%
若松キャンパス	院生	Ｍ１	137	136	99.3%	139	136	97.8%
		Ｍ２	146	132	90.4%	151	140	92.7%
		Ｄ１	28	23	82.1%	36	16	44.4%
		Ｄ２	35	16	45.7%	44	23	52.3%
		Ｄ３	80	29	36.3%	77	26	33.8%
	研究生		1	1	100.0%	1	1	100.0%
若松キャンパス計			427	337	78.9%	448	342	76.3%
合計			5,724	4,875	85.2%	5,796	4,890	84.4%

【総評】

平成 28 年度の定期健康診断は、4 月 4 日(月)、5 日(火)、6 日(水)、9 日(土)に実施し、昨年とほぼ同様の受診率であった。

新入生の未受診者に対しては、通年健康診断を実施し、100%受診を徹底している。

通年健康診断は 4 月上旬に留学生が入国していないケースが多いことより、平成 26 年度より入学後に外部医療機関で健診を受けられるように対応している。

社会人学生の割合が高いため博士後期課程の学生は受診率が低い。平成 29 年度からは、社会人を除く人数を対象者として受診率を計上することにした。

（2）胸部レントゲン検査

			デジタル撮影								精密検査（医療機関）				
			受診者数	結果					有所見者		受診者数	結果			
				異常なし	ほぼ正常	要観察・指導	要再検査	要精密検査	人数	率		放置可	要観察	要精密	要医療
戸畑キャンパス	学部生	１年	536	533	8			3	3	0.6%	1	1			
		２年	399	393	8			6	6	1.5%					
		３年	529	523	13			6	6	1.1%	4	4			
		４年	503	499	14			4	4	0.8%					
	院生	Ｍ１	242	241	5			1	1	0.4%					
		Ｍ２	275	269	8			6	6	2.2%	2	2			
		Ｄ１	8	8					0	0.0%					
		Ｄ２	3	2				1	1	33.3%					
		Ｄ３	4	4					0	0.0%					
	研究生		1	1					0	0.0%					
戸畑キャンパス計			2,500	2,473	56	0	0	27	27	1.1%	7	7	0	0	0
飯塚キャンパス	学部生	１年	419	404	10			5	5	1.2%	1	1			
		２年	414	403	6			5	5	1.2%	1		1		
		３年	400	393	4			3	3	0.8%					
		４年	410	395	11			4	4	1.0%	1	1			
	院生	Ｍ１	185	180	4			1	1	0.5%					
		Ｍ２	182	174	5			3	3	1.6%	1	1			
		Ｄ１	13	13	0				0	0.0%					
		Ｄ２	2	2	0				0	0.0%					
		Ｄ３	12	11	1				0	0.0%					
	研究生		1	1	0				0	0.0%					
飯塚キャンパス計			2,038	1976	41	0	0	21	21	1.0%	4	3	1	0	0
若松キャンパス	院生	Ｍ１	136	131	5				0	0.0%					
		Ｍ２	132	130	2				0	0.0%					
		Ｄ１	23	21	2				0	0.0%					
		Ｄ２	16	16					0	0.0%					
		Ｄ３	28	27	1				0	0.0%					
	研究生		1	0	1				0	0.0%					
若松キャンパス計			336	325	11	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0
合計			4,874	4,774	108	0	0	48	48	1.0%	11	10	1	0	0

※有所見者：要観察・指導，要再検査，要精密検査判定の者

【まとめ】

有所見者 48 名のレントゲンフィルムを学校医が確認し、診察を行ったうえで精密検査が必要な 11 名に対して紹介状を発行した。

病院紹介を行わなかった 37 名はすべて脊椎側弯の所見であり、例年であれば要精密検査の判定にあがってこないケースであったため、次年度よりは側弯の所見については要精密検査の判定以外にしてほしい旨を検診業者へ申し入れをおこなった。

精密検査を受診した 11 名のうち 10 名は放置可、1 名は要観察となり、肺結核や腫瘍などを疑われたケースはなかった。

大学においては感染症管理が重要である。特に新規結核患者の 8 割が留学生というﾃﾞｰﾀもあり、留学生の受診勧奨を徹底するように努めているが、平成 28 年度は精密検査が必要な留学生はいなかった。″

(3)血圧測定

			一次検査			二次検査					三次検査				
			受診者数	要再検者		受診者数	結果				受診者数	結果			
				人数	率		正常域	Ⅰ度高血圧	Ⅱ度高血圧	Ⅲ度高血圧		正常域	Ⅰ度高血圧	Ⅱ度高血圧	Ⅲ度高血圧
戸畑キャンパス	学部生	１年	536	16	3.0%	16	11	4	1		5	5			
		２年	399	59	14.8%	54	43	7	4		11	11			
		３年	529	56	10.6%	50	32	17		1	12	12			
		４年	503	55	10.9%	55	36	18	1		18	18			
	院生	Ｍ１	242	18	7.4%	18	7	11			11	11			
		Ｍ２	275	33	12.0%	31	19	11	1		11	11			
		Ｄ１	8	1	12.5%	1	1								
		Ｄ２	3	1	33.3%	1	1								
		Ｄ３	4	1	25.0%	1	1								
	研究生		1	0	0.0%										
戸畑キャンパス計			2,500	240	9.6%	227	151	68	7	1	68	68	0	0	0
飯塚キャンパス	学部生	１年	419	27	6.4%	27	19	7	1		8	7	1		
		２年	414	4	1.0%	4	1	3			3	3			
		３年	400	19	4.8%	19	16		3		1	1			
		４年	410	21	5.1%	21	15	4	2		6	6			
	院生	Ｍ１	185	18	9.7%	18	16	2	0		2	2			
		Ｍ２	182	15	8.2%	15	10	4	1		5	5			
		Ｄ１	13	1	7.7%	1	1								
		Ｄ２	2	0	0.0%										
		Ｄ３	12	1	8.3%	1		1			1		1		
	研究生		1	0	0.0%										
飯塚キャンパス計			2,038	106	5.2%	106	78	21	7	0	26	24	2	0	0
若松キャンパス	院生	Ｍ１	136	10	7.4%	10	7	2	1		3	3			
		Ｍ２	132	6	4.5%	6	3	3			3	3			
		Ｄ１	23	1	4.3%	1		1			1	1			
		Ｄ２	16	1	6.3%	1				1					
		Ｄ３	29	4	13.8%	4	4								
	研究生		1	0	0.0%										
若松キャンパス計			337	22	6.5%	22	14	6	1	1	7	7	0	0	0
合計			4,875	368	7.5%	355	243	95	15	2	101	99	2	0	0

※判定基準：一次検査の血圧が 140and/or90mmHg を超える者は，二次検査を行う。

※二次検査結果　Ⅰ度高血圧：140−159 または 90−99mmHg, Ⅱ度高血圧：160−179 または 100−109mmHg,

Ⅲ度高血圧：180 以上または 110mmHg 以上

【まとめ】

昨年度と判定基準は同じであるが、一次検査における要再検率が戸畑では平成27年度 3.5%→9.6%、飯塚では 3.9%→5.2%と大きく増加した。逆に若松は 9.1%→6.5%と減少した。特に再検率が高かった戸畑B2学生が昨年B1の時は、再検者６名（1.1%）であったことや、二次検査では正常域に入る学生が多いことより、緊張など心理的要因や健診会場の気候などの環境要因、測定方法、レントゲン検査などの待ち時間などの要因も考えられた。そのため、二次検査・三次検査を確実に実施し、高血圧のリスク判断を行ったうえで受診勧奨することが大切である。

二次検査未受診の学生に対しては、個別連絡を行い、最終的に戸畑は240名中227名、飯塚・若松においては要

再検学生全員のフォローを行うことができた。大部分は基準内で、要精査の該当はなかった。
肥満学生に高血圧が多いことより、前年度から高血圧の二次検査において、BMI30以上の学生には生活習慣病予防プログラム（主に減量指導）を実施している。若松で前年度より 10kg以上の減量に成功した学生が、健診で正常域に入ったケースもみられた。平成28年度はこの取り組みを事業計画の重点項目にあげ、三キャンパスで展開した。

(4)尿検査

尿蛋白

			一次検査			二次検査		精密検査（医療機関）				
			受診者数	有所見者		受診者数	要精密数	受診者数	結果			
				人数	率				放置可	要観察	要精密	要医療
戸畑	学部生	１年	536	7	1.3%	7	0					
		３年	24	0	0.0%							
	院生	Ｍ１	242	1	0.4%	1	0					
		Ｄ１	8	0	0.0%							
戸畑キャンパス計			810	8	1.0%	8	0					
飯塚	学部生	１年	419	0	0.0%							
		３年	47	0	0.0%							
	院生	Ｍ１	182	0	0.0%							
		Ｄ１	12	0	0.0%							
飯塚キャンパス計			660	0	0.0%							
若松	院生	Ｍ１	129	0	0.0%							
		Ｄ１	15	0	0.0%							
若松キャンパス計			144	0	0.0%							
合計			1,614	8	0.5%	8	0	0	0	0	0	0

※一次検査は原則早朝尿で行う。随時尿で(1+)以上の者は、二次検査（早朝尿）を行なう。

※「尿試験紙検査法」JCCLS 指針に基づく変更：定性表示の（+）を（1+）という数字と記号の組合せで表示。

尿潜血

			一次検査			二次検査		精密検査（医療機関）				
			受診者数	有所見者		受診者数	要精密数	受診者数	結果			
				人数	率				放置可	要観察	要精密	要医療
戸畑	学部生	１年	536	3	0.6%	3	1	1	1			
		３年	24	0	0.0%							
	院生	Ｍ１	242	3	1.2%	3	1	1	1			
		Ｄ１	8	0	0.0%							
戸畑キャンパス計			810	6	0.7%	6	2	2	2			
飯塚	学部生	１年	419	3	0.7%	3	1	1		1		
		３年	47	0	0.0%							
	院生	Ｍ１	182	3	1.6%	3	1	1		1		
		Ｄ１	12	0	0.0%							
飯塚キャンパス計			660	6	0.9%	6	2	2		2		
若松	院生	Ｍ１	129	2	1.6%	2	0					
		Ｄ１	15	0	0.0%							
若松キャンパス計			144	2	1.4%	2	0					
合計			1,614	14	0.9%	14	4	4	2	2	0	0

※一次検査は原則早朝尿で行う。随時尿で(1+)以上の者は、二次検査（早朝尿）を行なう。

※「尿試験紙検査法」JCCLS 指針に基づく変更：定性表示の（+）を（1+）という数字と記号の組合せで表示。

尿糖

			一次検査			二次検査		精密検査（医療機関）				
			受診者数	有所見者		受診者数	要精密数	受診者数	結果			
				人数	率				放置可	要観察	要精密	要医療
戸畑	学部生	１年	536	1	0.2%	0	0					
		３年	24	0	0.0%							
	院生	Ｍ１	242	1	0.4%	1	0					
		Ｄ１	8	0	0.0%							
戸畑キャンパス計			810	2	0.2%	1	0					
飯塚	学部生	１年	419	1	0.2%	1	0					
		３年	47	0	0.0%							
	院生	Ｍ１	182	1	0.5%	1	0					
		Ｄ１	12	0	0.0%							
飯塚キャンパス計			660	2	0.3%	2	0					
若松	院生	Ｍ１	129	0	0.0%							
		Ｄ１	15	0	0.0%							
若松キャンパス計			144	0	0.0%							
合計			1,614	4	0.2%	3	0	0	0	0	0	1

※一次検査は原則早朝尿で行う。随時尿で(1+)以上の者は、二次検査（早朝尿）を行なう。

※「尿試験紙検査法」JCCLS 指針に基づく変更：定性表示の（+）を（1+）という数字と記号の組合せで表示。

2－2. 通年健康診断

(1)受診者数及び受診率

対象者数:81 名　受診者数:79 名　受診率:97.5%

			対象者数	受診者数	受診率
戸畑	学部生	Ｂ１	5	5	100.0%
	院生	Ｍ１	34	34	100.0%
		Ｄ１	14	14	100.0%
	研究生		0		
戸畑キャンパス計			53	53	100.0%
飯塚	学部生	Ｂ１	0		
	院生	Ｍ１	7	6	86%
		Ｄ１	1	1	100%
	研究生		0		
飯塚キャンパス計			8	7	88%
若松	院生	Ｍ１	7	7	100.0%
		Ｄ１	13	12	92.3%
	研究生		0		
若松キャンパス計			20	19	95.0%
合計			81	79	97.5%

【まとめ】

対象者は定期健康診断の未受診者と10月入学生である。未受診者2名は、上記の通り未受診理由を確認した。昨年と受診者数は変わらなかった。通年健康診断は外部医療機関に委託実施している。

(2)通年健診各項目

			胸部レントゲン			血圧			尿検査						
			受診者数	要再検者		受診者数	要再検者		受診者数	要再検者					
										尿蛋白		尿潜血		尿糖	
				人数	率		人数	率		人数	率	人数	率	人数	率
戸畑	学部生	Ｂ１	4	0	0%	4	0	0%	4	0	0.0%	0	0%	0	0%
戸畑	院生	Ｍ１	30	0	0%	30	0	0%	30	1	3.3%	2	7%	0	0%
戸畑	院生	Ｄ１	11	0	0%	11	0	0%	11	0	0.0%	1	9%	0	0%
戸畑	研究生														
戸畑キャンパス			45	0	0	45	0	0	45	1	0	3	0	0	0
飯塚	学部生	Ｂ１	0		0%	0			0						
飯塚	院生	Ｍ１	7	0	0%	7	0	0%	7	0	0%	0	0%	0	0%
飯塚	院生	Ｄ１	1	0	0%	1	0	0%	1	0	0%	0	0%	0	0%
飯塚	研究生		0		0%	0			0						
飯塚キャンパス			8	0	0%	8	0	0%	8	0	0%	0	0%	0	0%
若松	院生	Ｍ１	7	0	0%	7	0	0%	7	0	0%	0	0%	0	0%
若松	院生	Ｄ１	12	0	0%	12	0	0%	12	0	0%	2	16.7%	0	0%
若松	研究生		0			0			0						
若松キャンパス			19	0	0%	19	0	0%	19	0	0%	2	10.5%	0	0%
合計			72	0	0.0%	72	0	0.0%	72	1	1.4%	5	6.9%	0	0.0%

判定基準:定期健康診断に準ずる

＜戸畑キャンパス＞

尿検査は、再検査で異常なし

＜若松キャンパス＞

尿潜血 2 名は、再検査で異常なし

【まとめ】

胸部レントゲン検査、血圧に関して有所見者はいなかった。尿検査のうち尿たんぱくが1名、尿潜血が5名、いづれも二次検査にて正常範囲内となった。前年度までの分析で、留学生の要精密検査の割合が高いことを示していたが、平成 28 年度においては、留学生の要精密検査者は該当しない結果であった。

2－3. 駅伝大会出場者　心電図検査（参加者全員）

受診者数:207 名

			受診者数	有所見者	
				人数	率
戸畑キャンパス	学部生	１年	71	7	9.9%
		２年	21	0	0.0%
		３年	12	1	8.3%
		４年	14	2	14.3%
	院生	Ｍ１	8	0	0.0%
		Ｍ２	8	0	0.0%
		Ｄ１	0		
		Ｄ２	0		
		Ｄ３	0		
	研究生		0		
	その他(職員)		0		
戸畑キャンパス計			134	10	7.5%

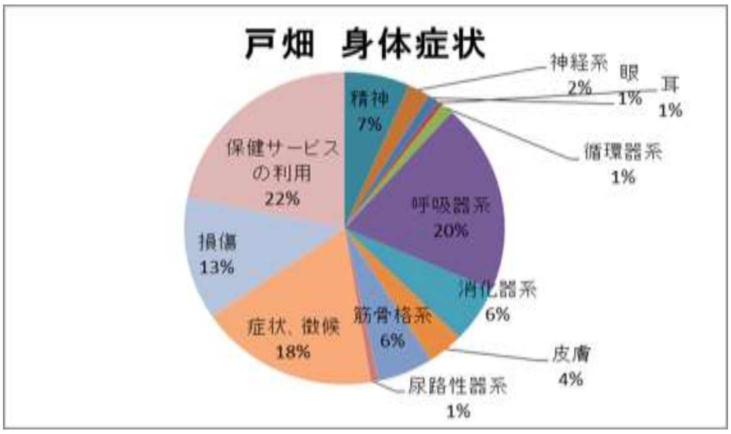
			受診者数	有所見者	
				人数	率
飯塚キャンパス	学部生	１年	42	2	4.8%
		２年	17	1	5.9%
		３年	12	2	16.7%
		４年	1	0	0.0%
	院生	Ｍ１	0		
		Ｍ２	1	0	0.0%
		Ｄ１	0		
		Ｄ２	0		
		Ｄ３	0		
	研究生		0		
飯塚キャンパス計			73	5	6.8%
合計			207	15	7.2%

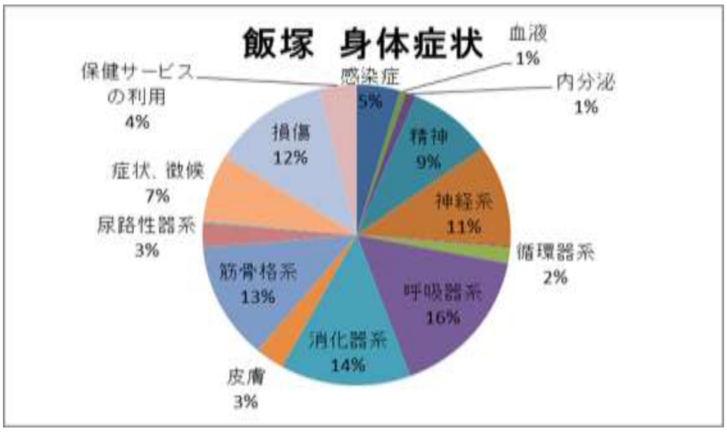
【まとめ】

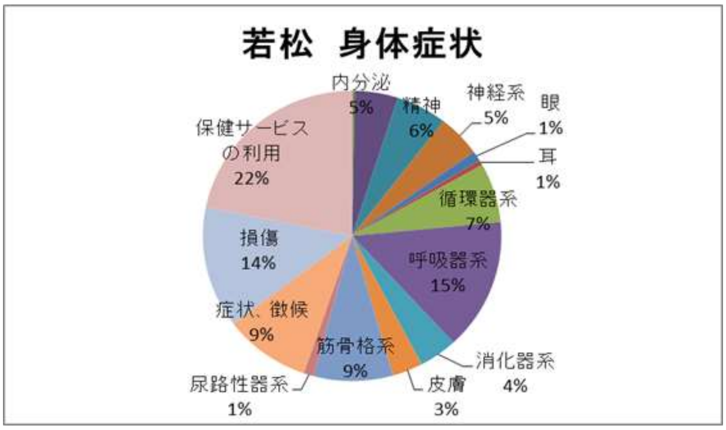
戸畑は 10 月 27 日・31 日、飯塚は 10 月 28 日の日程で保健センターにて、健診業者が心電図検査を行い、学校医が出場可否の判断を行った。昨年に比べ、戸畑キャンパスの受診者はほぼ変化なかったが、飯塚キャンパスの参加者数が増加したため、健診受診者数が増えた。

3. 保健センター利用状況（総括）

1）保健センター受診における身体症状の内訳

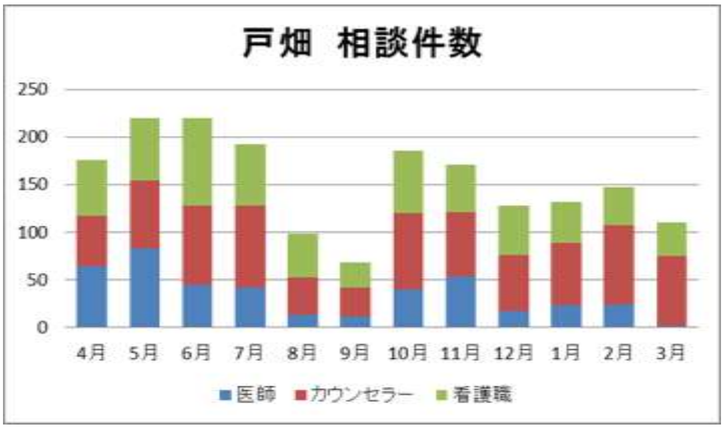


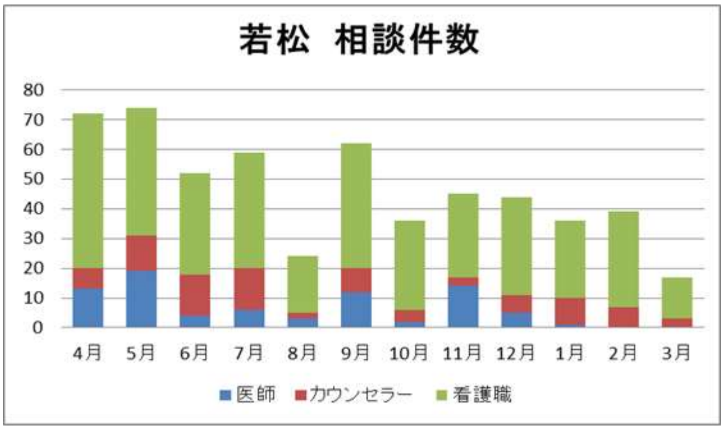




3キャンパス共通して、風邪を含む「呼吸器系症状」、ケガを含む「損傷」、原因不明な頭痛を含む「症状・徴候」、腰痛・肩こりを含む「筋骨格系」の症状の割合が高い。飯塚は「消化器系」の割合が高いことが特徴的である。
学生健康白書にあわせて、分類に「保健サービスの利用」を追加した。それには生活習慣病予防プログラム、卒煙プログラム、海外渡航前の医師面談などが該当する。

2)相談件数(月毎)について





4～5 月にかけては、定期健康診断の事後措置呼び出し等もあり、相談件数が多くなっている。

年度末にかけて、戸畑のカウンセリング利用が増加しており、不登校の相談、留年や卒業延期等の相談が多かった。

8～9 月は夏季休暇中のため、相談件数が減少するが、大学院のみで構成する若松は、9 月の相談件数が多くなっており、特に留学生の利用が多い傾向があった。

保健センター利用状況（詳細）

〈戸畑キャンパス　学生〉

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体症状	感染症及び寄生虫症													0
	新生物													0
	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害													0
	内分泌、栄養及び代謝疾患													0
	精神及び行動の障害	6	8	8	1	6	5	5	4	1	7	8	6	65
	神経系の疾患	1	5	2	3	1			2	4	1	1	2	22
	眼及び付属器の疾患	1	2	1	3	1		1		1	1			11
	耳及び乳様突起の疾患		1		2						1	1		5
	循環器系の疾患	3		1	2			5				1		12
	呼吸器系の疾患	18	31	16	10	7	3	12	42	18	16	19	2	194
	消化器系の疾患	3	5	11	2	2	1	6	7	9	4	7	1	58
	皮膚及び皮下組織の疾患	5	8	4	8	2	1	2	3	2		1		36
	筋骨格系及び結合組織の疾患	5	15	6	12	2	1	1	2	4	3	3	1	55
	尿路性器系の疾患	1	1		1	2				1	1	1		8
	妊娠、分娩及び産じょく（褥）													0
	周産期に発生した病態													0
	先天奇形、変形及び染色体異常													0
	症状、徴候及び異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの	16	16	18	17	11	13	30	10	12	20	13	2	178
	損傷、中毒及びその他の外因の影響	6	8	20	16	9	8	22	12	8	10	2	4	125
	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	62	51	35	18	5	2	5	11	2	2	2	20	215
	計	127	151	122	95	48	34	89	93	62	66	59	38	984

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談業務	医師	65	83	45	42	14	12	40	54	18	23	24	2	422
	カウンセラー	52	72	83	86	39	30	80	67	58	66	84	73	790
	看護職	59	65	92	65	46	27	66	50	52	43	40	36	641
	計	176	220	220	193	99	69	186	171	128	132	148	111	1853

*その他の保健サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ベッド利用	6	12	14	6	10	7	20	7	11	11	6	1	111
紹介状発行	7	4	4	3	2	2	4	4			1	1	32
検査・測定	8	5	11	4	5	3	3	6	6	8	7	2	68
病院紹介・その他	15	18	17	21	18	7	8	11	10	17	9	6	157

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
機器利用	117	79	131	168	73	85	94	51	44	56	82	78	1058
ひまわりルーム利用	12	9	1	7	6	1	8	5		1	10	1	61
ロビー利用	31	29	41	26	23	10	21	12	5	17	8	2	225

*健康診断証明書発行

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自動発行機		458	136	83	37	42	175	13	9	9	17	216	1195
保健センター	72	28	8	8	3	5			1	1	1	10	137

〈飯塚キャンパス　学生〉

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体症状	感染症及び寄生虫症	8	13											21
	新生物													0
	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3												3
	内分泌、栄養及び代謝疾患	4			1									5
	精神及び行動の障害	1	1		2	2	4	7	6	7	3	3	5	41
	神経系の疾患	9	5	7	5	1	1	5	3	4	4	4	2	50
	眼及び付属器の疾患													0
	耳及び乳様突起の疾患										1			1
	循環器系の疾患	5	2					1						8
	呼吸器系の疾患	1	11	8	3	3	1	5	8	8	16	6	5	75
	消化器系の疾患	4	2	11	11	2	3	7	4	4	9	6		63
	皮膚及び皮下組織の疾患		1	4	4				2	1	1	1		14
	筋骨格系及び結合組織の疾患	7	12	3	6	3	3	9	7	3	3	1	1	58
	尿路性器系の疾患	1	3	2	1		1			1	2		1	12
	妊娠、分娩及び産じょく(褥)													0
	周産期に発生した病態													0
	先天奇形、変形及び染色体異常			1										1
	症状、徴候及び異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの	3	1	1	10	3	1	2	5	3	3	1		33
	損傷、中毒及びその他の外因の影響	15	2	10	8	2	1	7		2	4	1	5	57
	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用					2		8	4				4	18
	計	61	53	47	51	18	15	51	39	33	46	23	23	460

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談業務	医師	37	52	31	16	13	6	19	21	13	14	13	14	249
	カウンセラー	43	59	86	73	37	30	62	52	55	56	62	44	659
	看護職	159	163	192	163	104	129	177	147	217	237	180	187	2055
計		239	274	309	252	154	165	258	220	285	307	255	245	2963

＊その他の保健サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ベッド利用	6	16	13	10	6		12	9	20	14	11	1	118
紹介状発行	7	6		1		1	4	2	5	1	1	1	29
検査・測定	27	30	21	18	11	4	8	8	15	45	10	65	262
病院紹介・その他	11	6	9	6	3	7	4	6	5	19	5	6	87
機器利用	196	407	107	354	198	236	295	208	191	232	161	166	2751
あすなろルーム利用	47	23	47	24	7	15	11	10	20	17	18	22	261

＊健康診断証明書発行

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自動発行機		520	150	80	32	44	94	9	8	9	24	166	1136
保健センター	56		2	5	1	1		1		1		11	78

〈若松キャンパス　学生〉

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体症状	感染症及び寄生虫症													0
	新生物													0
	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害							1						1
	内分泌、栄養及び代謝疾患	8	1	3	1			1	1	1	1			17
	精神及び行動の障害	6	6	5	1	1	1							20
	神経系の疾患	2			1	1	7	1	1	2		2		17
	眼及び付属器の疾患						1			1	1		1	4
	耳及び乳様突起の疾患		1						1					2
	循環器系の疾患	19	3	2										24
	呼吸器系の疾患	4	7		3	1	4	1	5	12	9	6	1	53
	消化器系の疾患	1	1	4		1	2	1		2		2	1	15
	皮膚及び皮下組織の疾患		1	1		1	1		3	3			2	12
	筋骨格系及び結合組織の疾患	3	5		1	1	3	4	6		1	6	1	31
	尿路性器系の疾患	1		1						2				4
	妊娠、分娩及び産じょく(褥)													0
	周産期に発生した病態													0
	先天奇形、変形及び染色体異常													0
	症状、徴候及び異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの	2	5	3	3	3	7	2	2	2	3	2		34
	損傷、中毒及びその他の外因の影響	3	6	3	9	4	5	4	2	4	3	3	3	49
	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	12	15	4	15	1	8	3	13	2		4	2	79
	計	61	51	26	34	14	39	18	34	31	18	25	11	362

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談業務	医師	13	19	4	6	3	12	2	14	5	1	0	0	79
	カウンセラー	7	12	14	14	2	8	4	3	6	9	7	3	89
	看護職	52	43	34	39	19	42	30	28	33	26	32	14	392
計		72	74	52	59	24	62	36	45	44	36	39	17	560

*その他の保健サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ベッド利用	2	2		2	1		2		2		5		16
紹介状発行	1	2	2	1		1		2					9
検査・測定	42	20	16	23	10	22	12	19	23	16	19	12	234
病院紹介・その他	7	4	2	2	1	3	1	3	6	5	3	1	38
機器利用	53	31	48	42	21	33	26	33	34	31	19	14	385

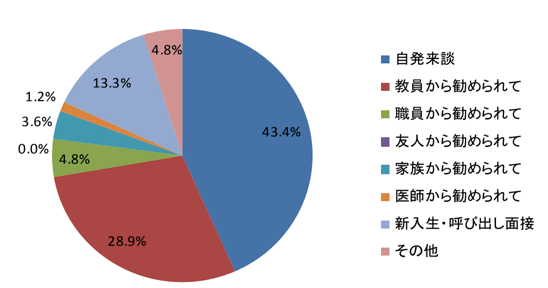
*健康診断証明書発行

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自動発行機		175	60	30	18	11	3		1	1	38	95	432
保健センター	5	2											7

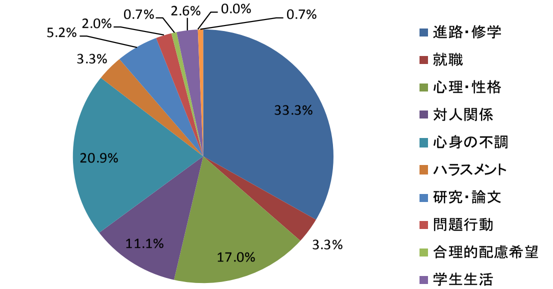
4.平成 28 年度心理相談利用状況

戸畑キャンパス

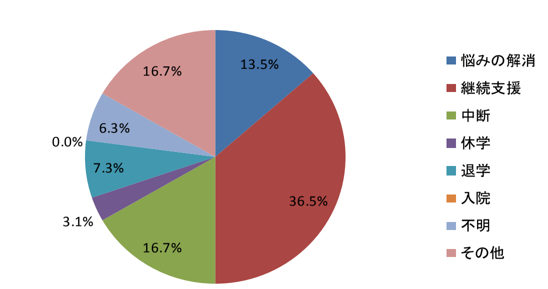
項目		男								女									
性別		男								女									
年次		1年次	2年次	3年次	4年次	過卒生	院1年次	院2年次	院3年次以	1年次	2年次	3年次	4年次	過卒生	院1年次	院2年次	院3年次以	合計	割合(%)
年齢	平均値																		
来談経緯	自発来談	2	3	2	7	4	7	3	1	2	1	2		1	1			36	43.4%
	教員から勧められて	3	3	6	2	3	1	3				1					2	24	28.9%
	職員から勧められて		2		1	1												4	4.8%
	友人から勧められて																	0	0.0%
	家族から勧められて			1		1			1									3	3.6%
	医師から勧められて		1															1	1.2%
	新入生・呼び出し面接		1	3	1	1	1	2	1			1						11	13.3%
	その他	1			1	1	1											4	4.8%
	合計	6	10	12	12	11	10	8	3	2	1	4	0	1	1	0	2	83	
相談の内容	進路・修学	4	7	9	9	9	5	2	2	1	1			1			1	51	33.3%
	就職			1			1	2	1									5	3.3%
	心理・性格	2	3	5	3	6	2	1	1		1	1		1				26	17.0%
	対人関係	1	3	3	3	1	1	1				3		1				17	11.1%
	心身の不調	2	3	4	3	3	5	3	3	1	1	2					2	32	20.9%
	ハラスメント				1		2	1		1								5	3.3%
	研究・論文				2	2	1	2									1	8	5.2%
	問題行動		1			1	1											3	2.0%
	合理的配慮希望		1															1	0.7%
	学生生活			2	1			1										4	2.6%
	学費・生活費																	0	0.0%
	その他					1												1	0.7%
	合計	9	18	24	22	23	18	13	7	3	3	6	0	3	0	0	4	153	
治療歴・相談歴	医療機関	1	2	3		3			2	1	1			1			1	15	51.7%
	現在の投薬治療中		1	1	2	2			1	1	1						1	10	34.5%
	スクールカウンセラー			1			1											2	6.9%
	その他					2												2	6.9%
	合計	1	3	5	2	7	1	0	3	2	2	0	0	1	0	0	2	29	
初回面談の結果	1回の面談で終結		3			1	2	3	1			1						11	13.4%
	面談の継続	6	7	11	9	10	6	4	2	2	1	3		1			2	64	78.0%
	医療機関紹介						1		1									2	2.4%
	その他専門的な機関紹介							1										1	1.2%
	その他				2		1			1								4	4.9%
	合計	9	10	11	11	11	10	8	4	3	1	4	0	1	0	0	2	82	
連携	学内の他の窓口／関係者	1	4	2	2	2	1											12	24.0%
	学校医	2	1															3	6.0%
	指導教員	2	1	3	3	4	2	1	1		1						1	19	38.0%
	キャリアセンター																	0	0.0%
	障がい学生支援の専門部署	2	3	1	1	3	1	1										12	24.0%
	近隣の医療機関	1	2	1														4	8.0%
	発達障害者支援																	0	0.0%
	女性相談センター																	0	0.0%
	ハローワーク																	0	0.0%
	警察																	0	0.0%
	合計	8	11	7	6	9	4	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	50	
転帰	悩みの解消	2	1		1		1	2		1		2			1		2	13	13.5%
	継続支援	4	4	8	5	4	4	1	1	1	1						2	35	36.5%
	中断		2	3	2	1	2	1	1	1		2		1				16	16.7%
	休学			1		1					1							3	3.1%
	退学		2	2	1	2												7	7.3%
	入院																	0	0.0%
	不明		2			1	2	1										6	6.3%
	その他	1			4	3	2	4	2									16	16.7%
	合計	7	11	14	13	12	11	9	4	3	2	4	0	1	1	0	4	96	



表：来談経路



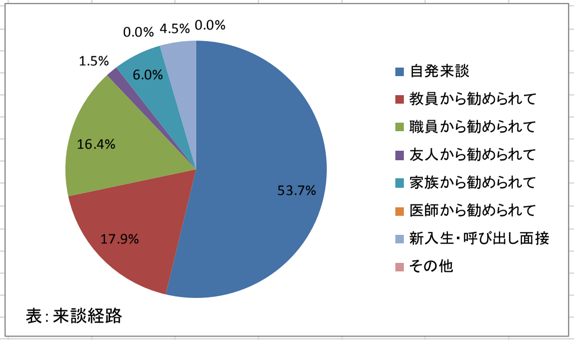
表：相談の内容



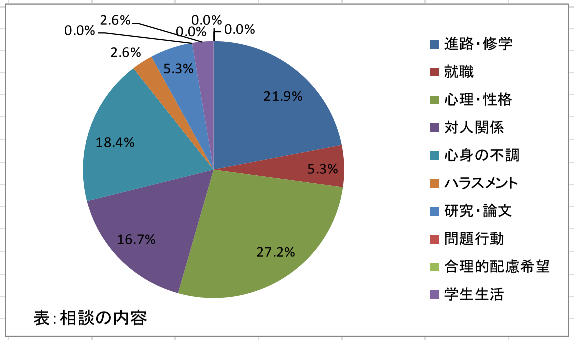
表：転帰

飯塚キャンパス

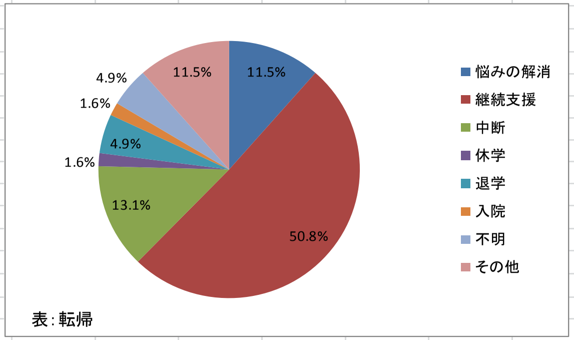
項目		男								女									
性別	年次	1年次	2年次	3年次	4年次	過卒生	院1年次	院2年次	院3年次以上	1年次	2年次	3年次	4年次	過卒生	院1年次	院2年次	院3年次以上	合計	割合
年齢	平均値																		
来談経緯	自発来談	5	4	4	3	2	4	2	3	1	1	3	2			1	1	36	53.7%
	教員から勧められて		3	1	2	3			2						1			12	17.9%
	職員から勧められて		1	2	4	1						1		1		1		11	16.4%
	友人から勧められて											1						1	1.5%
	家族から勧められて	1	1		2													4	6.0%
	医師から勧められて																	0	0.0%
	新入生・呼び出し面接				1			1	1									3	4.5%
	その他																	0	0.0%
	合計	6	9	7	12	6	4	3	6	1	1	5	2	1	1	2	1	67	
相談の内容	進路・修学	2	6	3	4	4		1	1	1	1		1		1			25	21.9%
	就職			1	2	1		1				1						6	5.3%
	心理・性格	4	4	4	3	3	1	2	3			5	2					31	27.2%
	対人関係	3	3	3	4	1		1	1			1			1		1	19	16.7%
	心身の不調	1	1	2	3	1	3		4	1	1			1		2	1	21	18.4%
	ハラスメント				1											2		3	2.6%
	研究・論文				1		2		2								1	6	5.3%
	問題行動																	0	0.0%
	合理的配慮希望																	0	0.0%
	学生生活				1		1						1					3	2.6%
	学費・生活費																	0	0.0%
	その他																	0	0.0%
	合計	10	14	13	19	10	7	5	11	2	2	7	4	1	2	4	3	114	
治療歴・相談歴	医療機関		1	2	1	2			4						1		1	12	57.1%
	現在の投薬治療中			1		1			2			1	1				1	7	33.3%
	スクールカウンセラー		1															1	4.8%
	その他				1													1	4.8%
	合計	0	2	3	2	3	0	0	6	0	0	1	1	0	1	0	2	21	
初回面談の結果	1回の面談で終結	2	1		3		1											7	10.0%
	面談の継続	4	7	7	8	6	3	2	6	1	1	5	2	1		2	1	56	80.0%
	医療機関紹介				1		1	1	2						1			6	8.6%
	その他専門的な機関紹介																	0	0.0%
	その他		1															1	1.4%
	合計	6	9	7	12	6	5	3	8	1	1	5	2	1	1	2	1	70	
連携	学内の他の窓口／関係者		1		2				1					1		1		6	18.8%
	学校医	1		2	1	1						3	1			1		10	31.3%
	指導教員		1	1		1											1	4	12.5%
	キャリアセンター																	0	0.0%
	障がい学生支援の専門部署		1	2		1												4	12.5%
	近隣の医療機関			2		2			2			1	1					8	25.0%
	発達障害者支援																	0	0.0%
	女性相談センター																	0	0.0%
	ハローワーク																	0	0.0%
	警察																	0	0.0%
	合計	1	3	7	3	5	0	0	3	0	0	4	2	1	0	2	1	32	
転帰	悩みの解消	1	1	1	2		1			1								7	11.5%
	継続支援	2	5	1	6	3	1		4		1	2	2	1		2	1	31	50.8%
	中断		1	2	2			1	1			1						8	13.1%
	休学	1																1	1.6%
	退学		1	1								1						3	4.9%
	入院			1														1	1.6%
	不明				1	1	1											3	4.9%
	その他			1		1	1	2	1								1	7	11.5%
	合計	4	8	7	11	5	4	3	6	1	1	4	2	1	0	2	2	61	



表：来談経路



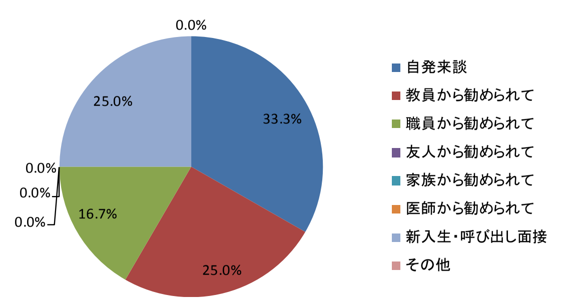
表：相談の内容



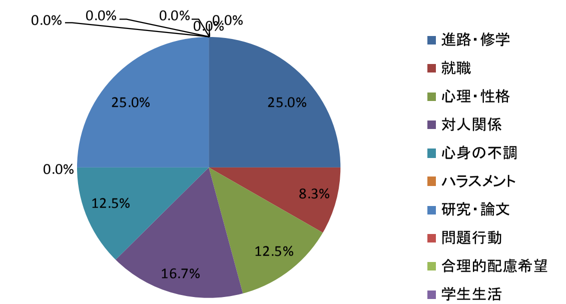
表：転帰

若松キャンパス

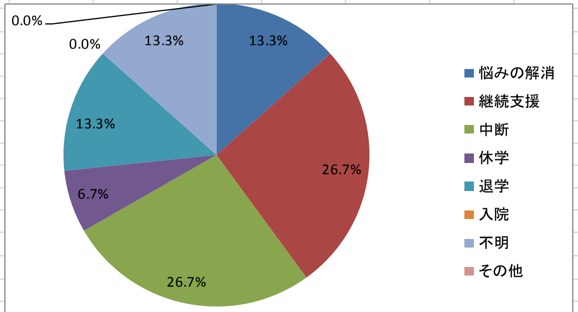
項目		男								女									
性別	年次	1年次	2年次	3年次	4年次	過卒生	院1年次	院2年次	院3年次以上	1年次	2年次	3年次	4年次	過卒生	院1年次	院2年次	院3年次以上	合計	割合（%）
年齢	平均値																		
来談経緯	自発来談					1	2						1					4	33.3%
	教員から勧められて							1	2									3	25.0%
	職員から勧められて						1									1		2	16.7%
	友人から勧められて																	0	0.0%
	家族から勧められて																	0	0.0%
	医師から勧められて																	0	0.0%
	新入生・呼び出し面接						1	1								1		3	25.0%
	その他																	0	0.0%
	合計					1	4	2	2	0	0	0	1	0	0	2	0	12	
相談の内容	進路・修学					1	2	1	1							1		6	25.0%
	就職						2											2	8.3%
	心理・性格						1						1			1		3	12.5%
	対人関係					1	1	1								1		4	16.7%
	心身の不調						1		1							1		3	12.5%
	ハラスメント																	0	0.0%
	研究・論文					1	1		1				1			2		6	25.0%
	問題行動																	0	0.0%
	合理的配慮希望																	0	0.0%
	学生生活																	0	0.0%
	学費・生活費																	0	0.0%
	その他																	0	0.0%
	合計					3	8	2	3	0	0	0	2	0	0	6	0	24	
治療歴・相談歴	医療機関																	0	0.0%
	現在の投薬治療中						2											2	#DIV/0!
	スクールカウンセラー																	0	0.0%
	その他																	0	0.0%
	合計					0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
初回面談の結果	1回の面談で終結						1											1	8.3%
	面談の継続					1	3	2	2				1			2		11	91.7%
	医療機関紹介																	0	0.0%
	その他専門的な機関紹介																	0	0.0%
	その他																	0	0.0%
	合計					1	4	2	2	0	0	0	1	0	0	2	0	12	
連携	学内の他の窓口／関係者																	0	0.0%
	学校医						3									1		4	33.3%
	指導教員					1		1	2									4	33.3%
	キャリアセンター																	0	0.0%
	障がい学生支援の専門部署						1											1	8.3%
	近隣の医療機関						1		1							1		3	25.0%
	発達障害者支援																	0	0.0%
	女性相談センター																	0	0.0%
	ハローワーク																	0	0.0%
	警察																	0	0.0%
	合計					1	5	1	3	0	0	0	0	0	0	2	0	12	
転帰	悩みの解消						1									1		2	13.3%
	継続支援						1		1				1			1		4	26.7%
	中断						1	2	1									4	26.7%
	休学						1											1	6.7%
	退学					1			1									2	13.3%
	入院																	0	0.0%
	不明						2											2	13.3%
	その他																	0	0.0%
	合計					1	6	2	3	0	0	0	1	0	0	2	0	15	



表：来談経路



表：相談の内容



表：転帰

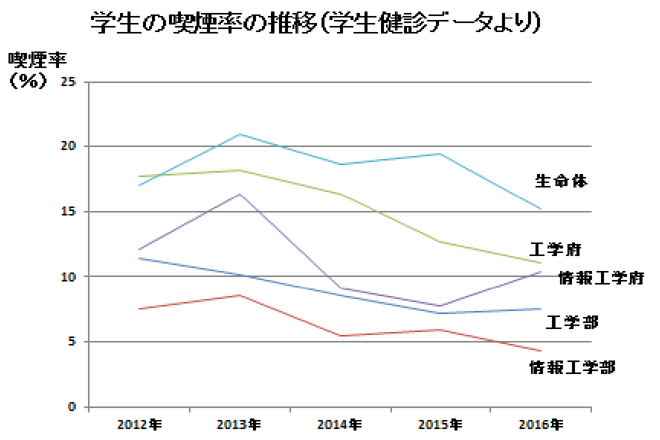
5. 平成 28 年度学生健康調査と健康支援に関する報告

（1） 喫煙状況について

			喫煙なし	禁煙した	喫煙している	うち禁煙したい	未記載	提出計	喫煙率
戸畑キャンパス	学部生	1年	528	0	1	1	7	536	0.2%
		2年	384	3	11	1	1	399	3%
		3年	456	14	59	18	0	529	11%
		4年	404	20	76	20	3	503	15%
	院生	M1	196	15	26	8	5	242	11%
		M2	224	11	33	14	7	275	12%
		D1	4	0	0	0	4	8	0%
		D2	3	0	0	0	0	3	0%
		D3	0	0	0	0	4	4	0%
	研究生		0	0	0	0	1	1	0%
戸畑キャンパス計			2199	63	206	62	32	2500	8%
飯塚キャンパス	学部生	1年	419	0	0	0	0	419	0%
		2年	401	3	10	3	0	414	2%
		3年	355	15	30	5	0	400	8%
		4年	368	11	31	7	0	410	8%
	院生	M1	162	4	19	7	0	185	10%
		M2	160	3	19	4	0	182	10%
		D1	11	1	1	0	0	13	8%
		D2	1	0	1	0	0	2	50%
		D3	9	2	1	0	0	12	8%
	研究生		1	0	0	0	0	1	0%
飯塚キャンパス計			1887	39	112	26	0	2038	5%
若松キャンパス	院生	M1	109	7	16	7	1	133	12%
		M2	101	4	25	8	0	130	19%
		D1	17	2	3	0	0	22	14%
		D2	10	1	3	0	0	14	21%
		D3	25	2	3	0	1	31	10%
	研究生		0	1	0	0	0	1	0%
若松キャンパス計			262	17	50	15	2	331	15%

喫煙者のブリクマン指数（喫煙年数×1日の本数）について

			～25未満	～50未満	～100未満	～150未満	150以上
戸畑キャンパス	学部生	1年	0	0	0	0	0
		2年	5	2	0	0	0
		3年	44	4	5	0	0
		4年	57	13	5	0	0
	院生	M1	21	2	5	0	0
		M2	29	6	0	1	0
		D1	0	0	0	0	0
		D2	0	0	0	0	0
		D3	0	0	0	0	0
	研究生		0	0	0	0	0
戸畑キャンパス計			156	27	15	1	0
飯塚キャンパス	学部生	1年	0	0	0	0	0
		2年	9	1	0	0	0
		3年	28	2	0	0	0
		4年	21	6	4	0	0
	院生	M1	16	2	1	0	0
		M2	11	5	3	0	0
		D1	0	1	0	0	0
		D2	1	0	0	0	0
		D3	0	1	0	0	0
	研究生		0	0	0	0	0
飯塚キャンパス計			86	18	8	0	0
若松キャンパス	院生	M1	14	2	0	0	0
		M2	12	7	5	1	0
		D1	1	2	0	0	0
		D2	2	0	0	1	0
		D3	2	0	1	0	0
	研究生		0	0	0	0	0
若松キャンパス計			31	11	6	2	0



平成28年度　喫煙対策活動状況

戸畑	卒煙プログラムに学生7名参加し、3名成功（参加者は昨年より4名減も成功率は上昇）した。 禁煙希望学生へのプログラム案内、喫煙所へのポスター掲示などの広報活動の結果、肺活量の測定や問い合わせが昨年度より増加した。このことは、卒煙に対する意識を高め、自らの健康について考えるきっかけづくりにつながっており、継続的に働きかけを行いたいと考える。
飯塚	卒煙プログラムに学生3名参加。1名に関しては、約1か月で中断。他1名は初回来談のみに止まっている。何れも経過フォローができていなかった点を今後の課題としたい。現在飯塚キャンパスでは、受動喫煙対策として喫煙所を22ヵ所から暫時計画的に削減しており、それと併せて禁煙サポートも積極的に取り組んでいきたい。
若松	卒煙プログラムに学生2名参加し、1名成功。 プログラムの参加には至らなかったが、オリエンテーションや健診事後措置でのプログラム案内より、問い合わせが増加し、呼気CO測定や禁煙指導を5名に実施し、以前より本数は減らしたなどの報告を受けた。大学院のみの若松キャンパスは他地区に比べて喫煙率が突出して高く、大学院入学後に喫煙を開始したケースもあり、新たに喫煙をはじめないための予防的な取り組みも必要と考える。

【まとめ】

学生の健康白書は、全国国立大学法人の保健管理センターが共同して、大学保健管理の基礎資料を得ることを目的に1984年からほぼ5年ごとに作成している。健康白書の結果では喫煙率について学部（4年制）男子平均9.1%、女子平均2.06%と男女で大きな差がある。平成28年度の本学女子学生の割合は1割を超えているものの、喫煙率の男女別分析をしていないため、このまま比較はできないが、全国と比較して学年が上がるごとに上昇しているなど同様の傾向を示していることが分かる。

キャンパス毎にみると、大学院のみで構成する若松の喫煙率が突出しており、ブリクマン指数（喫煙年数×１日の本数）の分布をみても、数値が高い傾向にあり、ニコチン依存度が強い傾向が伺える。10代から喫煙を開始した学生がみられること、留学生の割合も多く平均年齢が高いことなども影響していると考えられる。

戸畑は飯塚に比べての喫煙率が高く、学部3年生以降で差が開いている。男女比などの影響も考えられる。今後間もなく、健康白書2015が公表されるため、調査年度（平成27年度）の本学結果について男女別、飲酒習慣との影響など詳細に分析して比較したい。

（２）　飲酒習慣について

			毎日飲酒	時々飲酒	ほとんど飲酒しない	未記載	計	毎日飲酒の割合	飲酒率（毎日＋時々）
戸畑キャンパス	学部生	1年	0	8	521	7	536	0.0%	1%
		2年	4	95	300	0	399	1.0%	25%
		3年	6	376	147	0	529	1.1%	72%
		4年	19	327	155	2	503	3.8%	69%
	院生	M1	11	186	40	5	242	4.5%	81%
		M2	8	204	56	7	275	2.9%	77%
		D1	2	1	2	3	8	25.0%	38%
		D2	0	0	3	0	3	0.0%	0%
		D3	0	0	0	4	4	0.0%	0%
	研究生		0	0	0	1	1	0.0%	0%
戸畑キャンパス計			50	1197	1224	29	2500	2.0%	50%

			毎日飲酒	時々飲酒	ほとんど飲酒しない	未記載	計	毎日飲酒の割合	飲酒率（毎日＋時々）
飯塚キャンパス	学部生	1年	1	9	409	0	419	0.2%	2%
		2年	1	83	330	0	414	0.2%	20%
		3年	6	252	142	0	400	1.5%	65%
		4年	8	251	151	0	410	2.0%	63%
	院生	M1	2	121	62	0	185	1.1%	66%
		M2	2	111	69	0	182	1.1%	62%
		D1	0	6	7	0	13	0.0%	46%
		D2	0	1	1	0	2	0.0%	50%
		D3	0	2	10	0	12	0.0%	17%
	研究生		0	0	1	0	1	0.0%	0%
飯塚キャンパス計			20	836	1182	0	2038	1.0%	42%

			毎日飲酒	時々飲酒	ほとんど飲酒しない	未記載	計	毎日飲酒の割合	飲酒率（毎日＋時々）
若松キャンパス	院生	M1	4	83	45	1	133	3.0%	65%
		M2	3	81	46	0	130	2.3%	65%
		D1	0	8	14	0	22	0.0%	36%
		D2	0	5	9	0	14	0.0%	36%
		D3	1	13	17	0	31	3.2%	45%
	研究生		0	1	0	0	1	0.0%	100%
若松キャンパス計			8	191	131	1	331	2.4%	60%

【まとめ】
　毎日飲酒と時々飲酒を合わせた飲酒率をみると、学部3年生で最高になり、この結果は健康白書2010でも同じ結果であった。飲酒率に関しても全国平均とほぼ変わらない結果であった。
　飲酒率は20歳で急上昇することより、大学入学後にはじめてお酒を飲む学生が多く、お酒が飲めない体質があること、健康なお酒の飲み方、アルハラ、友達が酔い潰れた時の対処法などの教育を継続して実施していく必要がある。

(3) 運動習慣について

キャンパス	区分	学年	毎日運動	時々運動	ほとんど運動しない	未記載	計	毎日運動の割合	運動しない割合
戸畑キャンパス	学部生	1年	19	318	194	5	536	4%	36%
		2年	36	206	157	0	399	9%	39%
		3年	50	285	194	0	529	9%	37%
		4年	23	265	212	3	503	5%	42%
	院生	M1	2	149	86	5	242	1%	36%
		M2	7	168	93	7	275	3%	34%
		D1	0	5	0	3	8	0%	0%
		D2	1	1	1	0	3	33%	33%
		D3	0	0	0	4	4	0%	0%
	研究生		0	0	0	1	1	0%	0%
戸畑キャンパス計			138	1397	937	28	2500	6%	37%
飯塚キャンパス	学部生	1年	15	217	187	0	419	4%	45%
		2年	16	196	202	0	414	4%	49%
		3年	13	192	195	0	400	3%	49%
		4年	11	192	207	0	410	3%	50%
	院生	M1	5	90	90	0	185	3%	49%
		M2	4	91	87	0	182	2%	48%
		D1	2	6	5	0	13	15%	38%
		D2	0	0	2	0	2	0%	100%
		D3	0	8	4	0	12	0%	33%
	研究生		1	0	0	0	1	100%	0%
飯塚キャンパス計			67	992	979	0	2038	3%	48%
若松キャンパス	院生	M1	5	73	54	1	133	4%	41%
		M2	6	69	55	0	130	5%	42%
		D1	1	13	8	0	22	5%	36%
		D2	1	7	6	0	14	7%	43%
		D3	2	15	14	0	31	6%	45%
	研究生		0	1	0	0	1	0%	0%
若松キャンパス計			15	178	137	1	331	5%	41%

【まとめ】
学部4年生でほとんど運動しない割合が高くなる傾向にあるが、キャンパス間の比較で飯塚の運動習慣率の低さが特徴的である。
「ほとんど運動しない」割合が高いが、運動をしたいという希望も多くきかれるため、日常生活に取り入れることができる体操などを保健だよりなどで周知していきたい。

（4） 睡眠状況について

1日の睡眠時間（平均）について

			平均時間	分布 ～4未満	～6未満	～8未満	8以上
戸畑キャンパス	学部生	1年	6.4	3	51	444	33
		2年	6.6	1	42	283	75
		3年	6.4	4	80	376	71
		4年	6.5	2	252	367	80
	院生	M1	6.5	1	27	176	33
		M2	6.6	1	26	197	44
		D1	5.8	0	2	2	0
		D2	7.6	0	0	1	2
		D3	0	0	0	0	0
	研究生		0	0	0	0	0
戸畑キャンパス計			6.6	12	480	1846	338
飯塚キャンパス	学部生	1年	6.1	1	71	335	12
		2年	6.7	1	59	241	113
		3年	6.6	2	44	292	62
		4年	6.6	1	48	283	78
	院生	M1	6.8	2	17	120	46
		M2	6.7	0	23	117	42
		D1	6.7	0	0	11	2
		D2	6.5	0	0	2	0
		D3	6.8	0	1	8	3
	研究生		8	0	0	0	1
飯塚キャンパス計			6.5	7	263	1409	359
若松キャンパス	院生	M1	6.6	0	15	98	20
		M2	6.7	0	16	82	31
		D1	7	0	1	13	7
		D2	6.5	0	0	14	1
		D3	6.9	0	4	18	9
	研究生		8	0	0	0	1
若松キャンパス計			6.7	0	36	225	69

【まとめ】

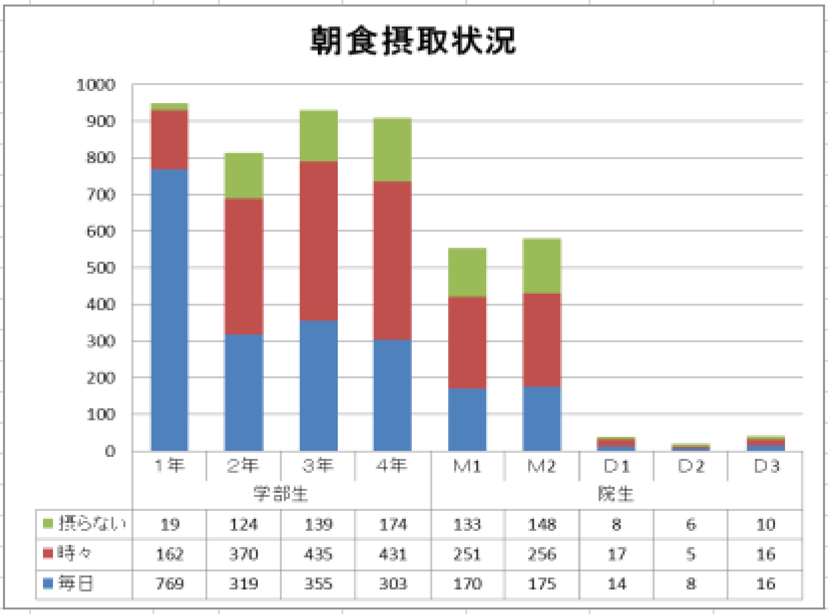
学部生は院生に比べて平均睡眠時間が短い傾向にあり、睡眠時間が4時間をきる学生の割合も高い。

睡眠不足は、心身の不調のあらわれの場合もあり、GHQ検査結果とあわせて必要に応じて個別支援につなげた。

「朝の時間がない」と答える学生が多いことより、睡眠時間だけでなく、就寝時間・起床時間を確認し、生活習慣を整える必要がある。

（5） 朝食摂取習慣について

			毎日	時々	摂らない	未記載	計	毎日摂取する割合
戸畑キャンパス	学部生	1年	431	90	10	5	536	80%
		2年	181	158	60	0	399	45%
		3年	199	260	70	0	529	38%
		4年	175	222	101	5	503	35%
	院生	M1	61	106	70	5	242	25%
		M2	79	115	74	7	275	29%
		D1	3	0	1	4	8	38%
		D2	2	1	0	0	3	67%
		D3	0	0	0	4	4	0%
	研究生		0	0	0	1	1	0%
戸畑キャンパス計			1131	952	386	31	2500	45%
飯塚キャンパス	学部生	1年	338	72	9	0	419	81%
		2年	138	212	64	0	414	33%
		3年	156	175	69	0	400	39%
		4年	128	209	73	0	410	31%
	院生	M1	60	86	39	0	185	32%
		M2	57	82	43	0	182	31%
		D1	7	5	1	0	13	54%
		D2	1	0	1	0	2	50%
		D3	6	5	1	0	12	50%
	研究生		1	0	0	0	1	100%
飯塚キャンパス計			892	846	300	0	2038	44%
若松キャンパス	院生	M1	49	59	24	1	133	37%
		M2	39	59	31	1	130	30%
		D1	4	12	6	0	22	18%
		D2	5	4	5	0	14	36%
		D3	10	11	9	1	31	32%
	研究生		1	0	0	0	1	100%
若松キャンパス計			108	145	75	3	331	33%



【まとめ】
　学部1年生から2年生にかけて、朝食を毎日食べる割合が半減する。これは、全国的な傾向であり、厚生労働省でも朝食欠食の問題を取り上げている。朝食を食べない理由として「朝、時間がない」と答える学生が多く、朝食の欠食は大学入学後の生活習慣の乱れを顕著にあらわしている。
　以上の健康調査各項目結果について、生活習慣は心身の健康問題に影響しており、今後の健康管理につなげていきたい。

6. 平成 28 年度ストレスチェックフォローアップについて

平成２８年度学生定期健康診断の際に、受診者を対象に精神健康調査（ＧＨＱ−12）を行ない、その得点から、高〜中程度のストレス状態にある学生をスクリーニングし、フォローアップ対象としてリストアップした。

	来談勧奨	利用案内
戸畑キャンパス	１９名	１４５名
飯塚キャンパス	５５名	２２２名
若松キャンパス	１０名	２６名

●「来談勧奨」〜12 項目のうち、10 項目以上にチェックが入っている者及び、「カウンセラーに相談したいことがある」に「はい」と回答している者に対して、電話やメールでコンタクトし、必要であれば日程調整のうえ、カウンセラーが面談を行った（４月中)。

●「利用案内」〜12項目のうち、6項目以上のチェックが入っている者に対して、メールを配信し、保健センターのカウンセリングや健康相談、グループ活動の案内を行った（５月中）。

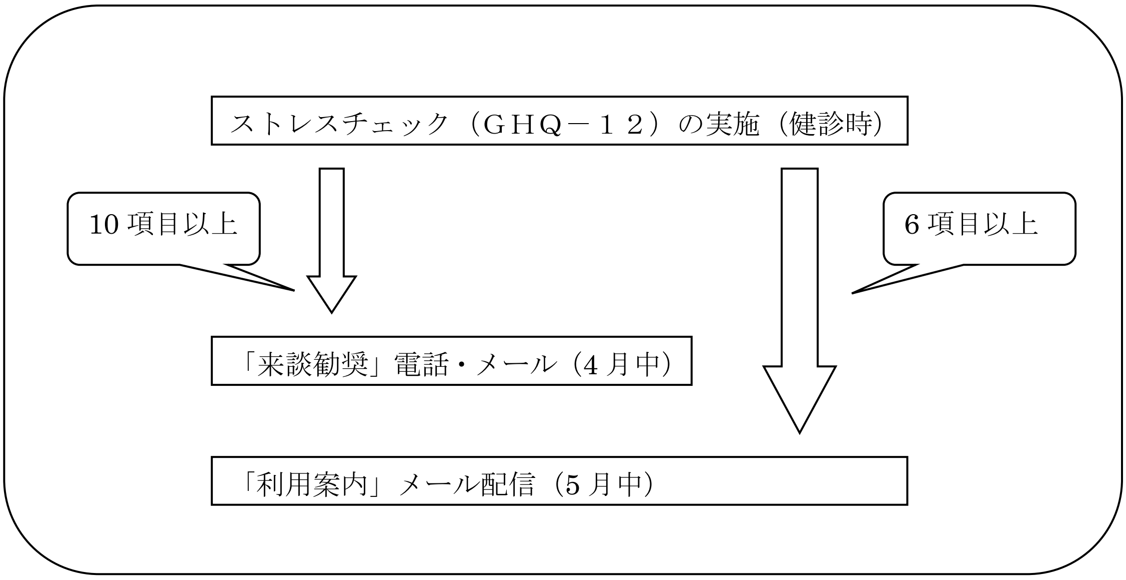


図. ストレスチェックフォローアップのながれ

7. 保健センター広報関係

学生・教職員の健康増進啓発を目的に保健センターだよりを刊行した。
ポスター掲示による周知のほか、保健センターホームページやメールなどの電子媒体を用いて保健センターだよりを発信している。

保健センターだより 6号

職員版～健康診断特集号～ 2016年9月

健康診断

大学では職員の健康状態を継続的に把握し、健康状態の悪化を防ぎ、より健康な状態で働くことができるように、「労働安全衛生法」に基づき、年に1回定期健康診断を実施し、その結果を産業医が就業判定した上で、産業医・保健師が保健指導や受診勧奨などの事後措置を行っています。
また健康診断は病気を早期発見し、早期治療につなげるとともに、生活習慣を振り返り、改善するきっかけになります。7月に受けた健康診断の結果をご覧になり、自分の健康状態を知り、生活習慣を振り返ってみましょう。
保健指導や受診勧奨など面談が必要な方は後日ご連絡しますので、健康維持・増進し、健康で働くことができるように一緒に考えていきましょう。

Q. 健診は人間ドックやかかりつけの病院で受けてもよい？
年度中に健診の法定項目すべてを受診し、かつ結果を大学に提出することで代用可能です。ただし、費用は自己負担になります。

Q. 健診後、呼び出しをうけたが、自覚症状がないので、面談には行かなくてよい？
生活習慣病は自覚症状が出にくく、気づいたときにはかなり進行していることが少なくありません。初期の段階での生活習慣改善が大病を防ぐことにつながります。ぜひ面談にお越しください。

Q. 健診後、呼び出しをうけたが、病院受診しているので、面談には行かなくてもよい？
病院受診中であっても、治療の状況等の確認が必要な場合やコントロールが不良の場合などお呼び出しをしています。ぜひ面談にお越しください。

Q. 年齢によって健診項目が違うの？
大学では法定項目を実施しており、34歳以下、36～39歳の方は腹囲、心電図、血液検査がありません。
35歳の方は腹囲、心電図、血液検査があり、ご自分の健康状態を知るチャンスです！何か所見があった場合は早めに改善するよう心がけましょう。

メタボリックシンドローム

40歳以上の方は定期健診と合わせて特定健診（メタボ健診）を実施し、メタボリックシンドロームに該当及び予備軍の方に特定保健指導のご案内をしています。生活習慣を改善し、メタボを解消しましょう！

食べ過ぎ・運動不足など、悪い生活習慣の積み重ね
↓
内臓脂肪蓄積
＋
高血圧・脂質異常・高血糖のうち2項目以上該当
（内臓脂肪型肥満 おへそ周りが 男性85cm以上 女性90cm以上）
＝
内臓脂肪症候群
↓
動脈硬化
↓
心臓病（心筋梗塞、狭心症など）
脳卒中（脳出血、脳梗塞）
その他の動脈硬化性疾患

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪が過剰にたまることで体内の代謝のバランスが崩れ、血糖や血中脂質、血圧に悪影響を及ぼした状態。動脈硬化が飛躍的に進み、心筋梗塞や脳卒中など命にかかわる病気がおこりやすくなります。

もっと詳しく調べたい方は人間ドックもおすすめします！

人間ドックの費用は健診機関や健診内容によって異なりますが、日帰りコースは25000～50000円程度、1泊2日コースは50000～70000円程度です。

★文部科学共済組合では35歳以上の組合員及びその被扶養者である配偶者を対象に共済組合が指定する健診機関での受診に限り、人間ドック受検費用の助成を実施しています。詳しくは下記HPをご参照ください。
文部科学省共済組合HP

★協会けんぽ加入者は「生活習慣予防健診」という名称で、健診費用の一部を協会けんぽが補助します。内容や申し込み等の詳細はグループウェアの掲示板に平成28年3月28日付で掲示している「平成28年度生活習慣病予防健診のご案内について（通知）」をご確認ください。
九工大グループウェアの掲示板

生活習慣病のほとんどは、早期には自覚症状がありません。健診数値は、もの言わぬ体から発せられた声です。しっかり耳を傾けることが大切です。健康管理のためには自分の現状を知ることが第一歩。「要再・精密検査」「要治療」と判定されたら、必ず医療機関を受診してください。但し、健診はすべての病気を見つけることができるわけではありません。健診結果に異常がなくても気になる自覚症状がありましたら、早めに医療機関にご相談ください。また保健センターでは皆さんの健康を応援しています。気軽にご相談ください。

☆保健センターHP☆ http://hoken.jimu.kyutech.ac.jp/